

(令和3年7月試験研究業務月報)

試験研究課題：令和3年度「新漁業管理制度推進情報提供事業調査」

情報

リアルタイム操業日誌アプリの実証試験を行っています

絶滅が危惧されるクロマグロは、現在、資源保護のために厳格な漁獲量の管理が求められています。今後、漁業法の改正により、クロマグロ以外にも管理を求められる魚種が増えると予想され、アプリ等のデジタル技術を用いた情報の管理・共有システムの重要性がますます高まると考えられます。

当センターでは、漁業者・漁業協同組合と操業情報等を迅速に共有することを目的として、漁業者の保有するスマートフォンで入力できるリアルタイム操業日誌アプリを昨年度試作しました。

まずは、定置網に入網したクロマグロの漁獲・放流情報の共有から進めることとしており、今年7月までに府内の大型定置網漁業経営体を中心とした説明を完了し、適宜活用していただいています。今後、漁業者の意見や要望をとりまとめ、今年中にはより使いやすく便利なアプリとなるように改良を行う予定です。

漁業者にアプリの必要性を理解してもらうとともに、いち早く操作に慣れていただけるよう漁業協同組合とも連携しながら普及に努めます。



アプリのメニュー画面（左）と入力画面（右）



説明会の様子